



慶應義塾大学GIGAプログラム アドミッション



慶應義塾大学 環境情報学部

萩野 達也

慶應義塾大学におけるG30の取り組み

■ 全塾的な取り組み

□ 全塾的な国際化

- 既存の英語プログラムの強化
- いろいろな文書の英語化

□ 交換留学提携校へのショートプログラムの実施

□ ロンドンでの留学フェアの開催

□ 留学希望者への広報

- Keio Global (<http://www.global.keio.ac.jp/>)

■ 新規英語プログラム

□ 経済学研究科

- パリ政治学院とのダブルディグリー・プログラム

□ システムデザイン・マネジメント研究科

□ 環境情報学部

- GIGA Program

Faculty and Student Numbers

■ Academic Staff	2,983	(as of March 2012)
<small>*Full-time staff only (tenured and non-tenured)</small>		
■ Enrollment	33,481	(as of May 2012)
• Undergraduate	28,844	
• Graduate	4,637	
■ International Students	1,203	(as of May 2012)
• Undergraduate	491	
• Graduate	459	
• Japanese Language Program	129	
• Non-degree Students	124	

1203 International Students¹

from 77 countries including:
Korea, China, Taiwan, USA, France

218 Keio Students Studying Abroad²

554 International Faculty and Researchers³

171 International Visiting Researchers⁴

140 Outgoing Keio Researchers
(more than 3 month period)⁵

¹As of May 2012, ²As of May 1, 2011, ³2009 Academic Year
⁴2011 Academic Year, ⁵2011 Academic Year



Keio University | Global



GLOBAL INFORMATION AND
COMMUNICATION TECHNOLOGY AND
GOVERNANCE ACADEMIC PROGRAM

■ GIGAプログラム

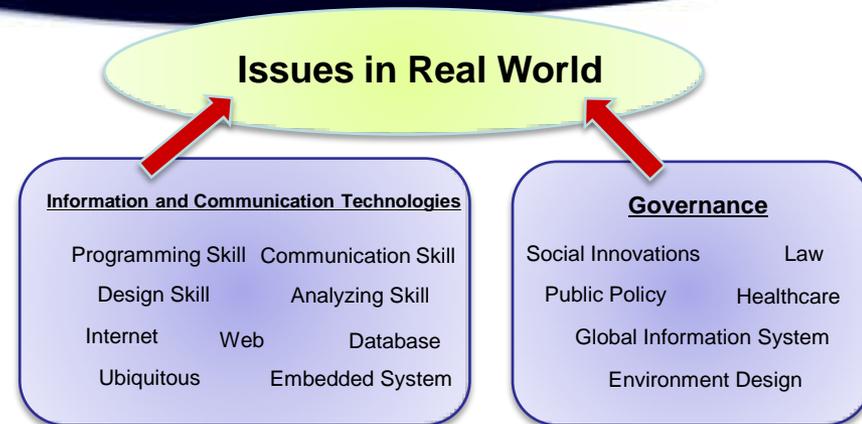
- Global ICT and Governance Academic Program
- ITを基盤として社会のあらゆる問題に取り組む

□ カリキュラム

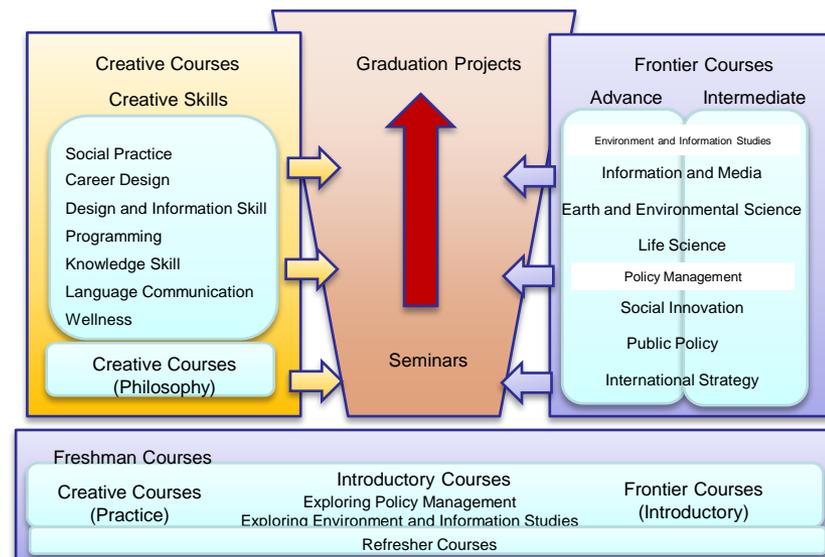
- プロジェクトベースカリキュラム
- 既存の環境情報学部の科目の一部を英語化
- 指定された科目群から一定の単位数を取得することでサーティフィケート取得
- 科目はすべて留学生・日本人にオープン

□ 日本語に関する教育

- 初級, 中級, 上級とレベルに合わせた日本語教育
- 2014年度からインテンシブコースを開講



SFC Curriculum Structure



2013年度入学までのカリキュラム



■ 入試広報

□ 最初の2年は情報収集・準備

□ 留学フェアへの参加

- JASSO留学フェア
- G30留学フェア

□ 高校訪問

- 韓国, 中国, 台湾, 香港, ベトナム, インドネシア, シンガポール, タイ, インド, アメリカ

□ Webの利用

- Webサイトの構築 (<http://ic.sfc.keio.ac.jp/>)
- Web広告

□ 高校生向けサマーキャンプ

- 大学のイベントに合わせて海外の高校生向けサマーキャンプ
- IT系のワークショップ, 研究室見学, 観光
- カレッジカウンセラーも招待

■ GIGA以外の主に海外在住者を対象とした学部入試(概要)

	資格	必須スコア等	入試スケジュール
帰国生入試	高校の最終学年を含む2年以上が日本以外の教育制度	TOEFL 各国統一試験	8月上旬願書締切 8月下旬1次選考 9月上旬2次面接 9月上旬合格発表
留学生入試	中学・高校が日本以外の教育制度	TOEFL 日本留学試験	11月上旬願書締切 1月上旬1次選考 1月上旬2次面接 1月中旬合格発表
AO入試 (海外出願)	出願時から合格発表まで海外在住	TOEFL SAT(Reasoning, Subject Test) 3分間の自己紹介ビデオ	2月中旬願書締切 3月上旬書類選考 3月下旬合格発表

※いずれも募集要項は全て日本語で記載されており、出願書類も日本語で記入。

入学選考における考慮点

- 出願資格
 - 国籍条件を付けるのか
 - 日本以外の教育制度の年数をどうするのか
 - 中高6年間
 - 高校最終学年を含む2年以上
 - 高校の2年以上
 - 国内のインターナショナルスクールからの出願を許すか
- 出願書類
 - SATなどの統一試験の扱い
 - Predicted Scoreを許すか
- 入学試験
 - 次のスライド
- 学校推薦
 - 学校長からの推薦を受け入れるか
 - 学校推薦の条件をどうするのか
- 奨学金
 - 受給者を入試選考と同時に行うか

入学試験方式

	メリット	デメリット
統一試験の成績	TOEFLとSATなどに限定すると、成績による比較が簡単にできる	すべての国でSATを受けることはできない 国ごとに統一試験が異なる 統一試験がない国もある
高校の成績	受験生に統一試験などの負担がない	高校毎にレベルが異なるので、成績を補正する必要がある
日本で面接	大学の負担は少ない 実際に人物を見て決めることができる	留学生が面接のために日本に来なくてはならない
現地で面接	受験生への負担は少ない 実際に人物を見て決めることができる	教員を現地に派遣する必要がある すべての国に行くにはコストがかかりすぎる
ネットで面接	実際に会うよりは劣るが、質疑をして受験生の能力や人物を知ることができる	国などによるとネットが細くて音のみになることがある ネットに不具合があったときにどう対処するか
自己紹介 ビデオの提出	書類では分からない人物の雰囲気などを知ることができる 英語はしゃべれるのかの確認が可能	ビデオが作成できない環境の学生もいる インタラクティブではないので質問はできない



■ 選考方式

- 提出書類と3分間のビデオにより選考する

■ 2011年・2012年入試

- 出願資格: 中学・高校6年間を日本以外の教育制度かつ海外の学校(それ以外は事前審査)

- 出願書類: 指定された統一試験のスコアの提出が必須

□ 問題点

- 日本に関心があり、交換留学などで中高の時に1年間など日本に来ていると受験資格がなくなる。
- 卒業見込みの学生にとって、2月末に提出できる統一試験はごく限られる。(事実上SATのみ)
- IBについてはDiploma必須だったが、2012年はPredicted Scoreも可とした。

■ 2013年・2014年入試

- 出願資格: 高校3年のうち2年以上を日本以外の教育制度

- 出願書類: 統一試験のスコアの提出は必須としないが、できるだけ提出が望ましい。Predicted Scoreも可。学校プロフィールの提出が必須

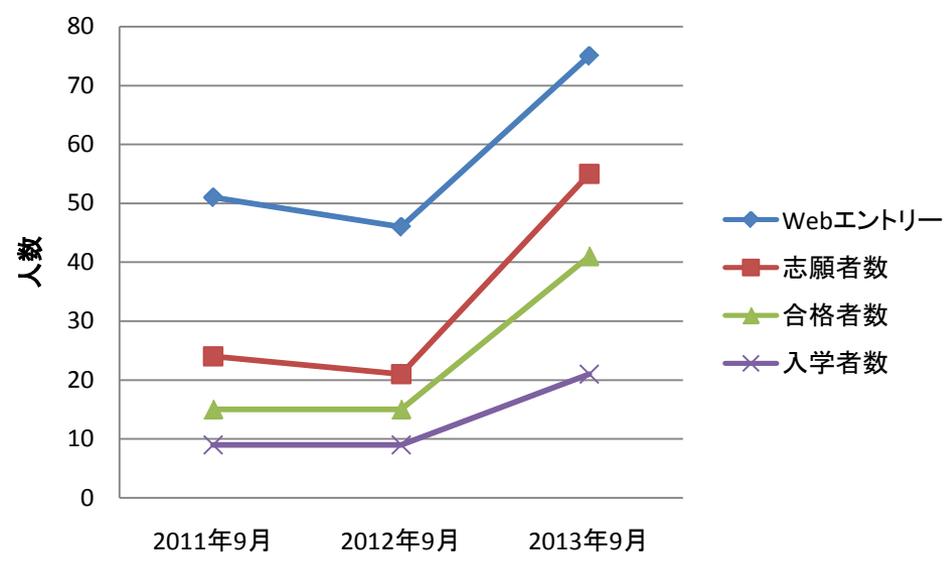
□ 問題点・課題

- 志願者の学力・英語力の担保をどのようにするのか

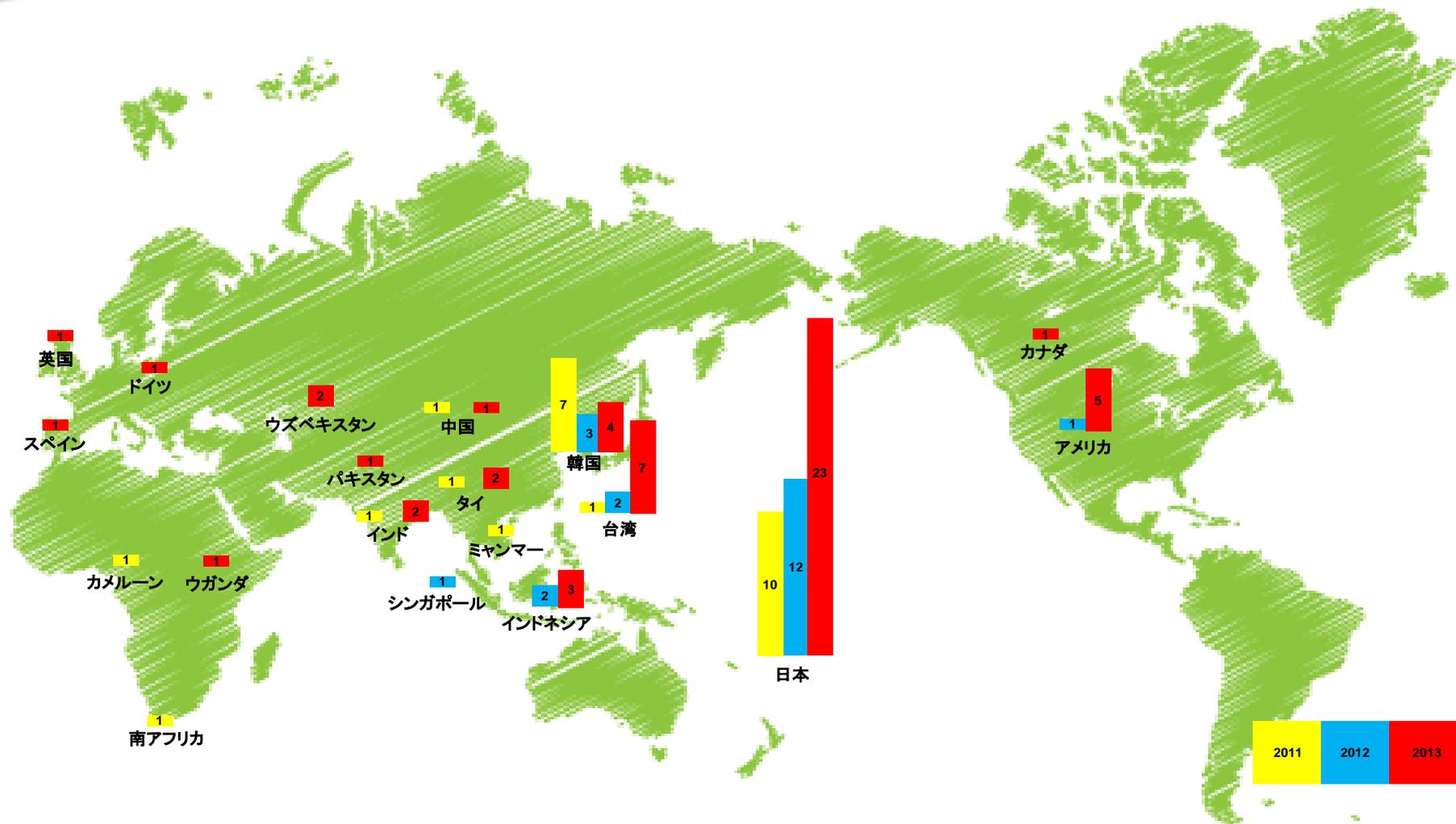
GIGAプログラム志願者・合格者・入学者数

入学時期	Web エントリー数	志願者数	合格者数	入学手続者数		入学者数
				1次	2次	
2011年9月	51(22)	24(9)	15(8)	10(4)	10(4)	9(4)
2012年9月	46(23)	21(14)	15(9)	10(5)	10(5)	9(4)
2013年9月	75(31)	55(22)	41(17)	24(9)	21(8)	21(8)
						() 女子内数

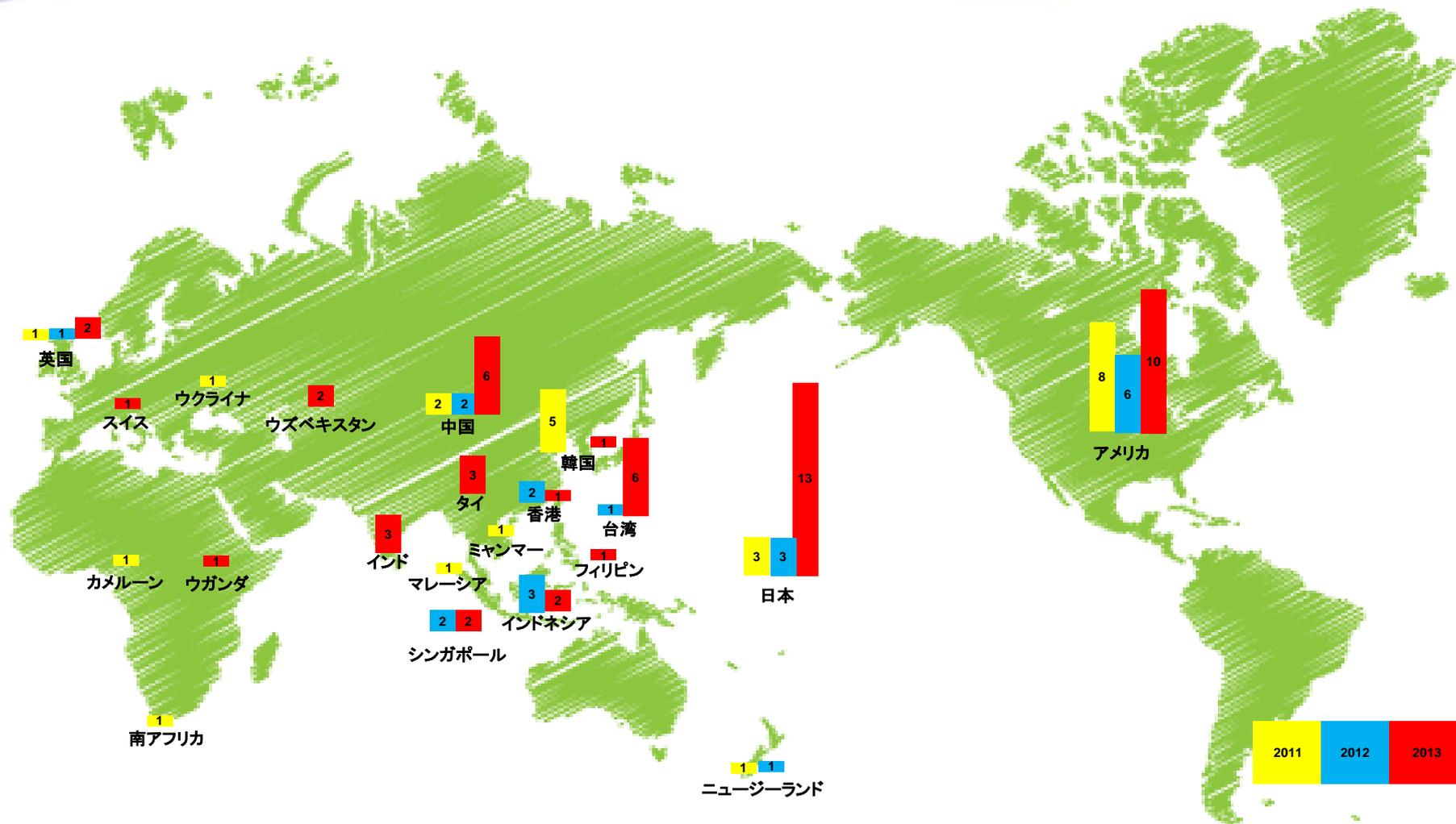
志願者・入学者数



✂ 志願者の分布(国籍)



✂ 志願者の分布(出身高校)





GIGA入試のまとめと今後

■ GIGA入試のまとめ

- 継続性も考えて面接は実施せず、ビデオを提出してもらうことで代替
- 出願資格・書類を見直すことで、広く受験生を受け入れることができた

■ GIGA入試の今後（検討課題）

□ 海外AOとの融合

- 条件はGIGAとほとんど同じで、言語のみが日英の違い

□ 国内AOとの融合

- 国際高校や国内IBが増えつつあるため、出願書類については日英対応にする
- 国内AOはオンラインでの出願が可能